



和歌山県・紀の川市 西日本最大の桃産地が迎える「熱い夏」 ～紀の川市は桃シーズンの最盛期を迎えています～

和歌山県紀の川市（市長：岸本健）では、今年も桃の収穫・出荷の最盛期を迎えています。西日本最大の桃産地として知られる本市ですが、その裏側では、生産者が年々厳しさを増す猛暑や異常気象、病害虫被害などと向き合いながら、一玉一玉に想いを込めて桃づくりに携わっています。

早朝から始まる収穫作業、選果場での選別、開店前から行列ができる直売所。収穫・出荷のピークのこの時期は、生産者、JA、販売事業者、観光関係者、市民など、多くの人々が桃を中心に動き出し、まち全体が活気に包まれています。

一方で、近年は猛暑や暖冬などの気候変動の影響により、これまで当たり前だった栽培方法の見直しを迫られるなど、産地を取り巻く環境は大きく変化しています。それでも、生産者は工夫を重ねながら高品質な桃づくりに挑戦し続けています。桃が店頭に並ぶまでには、多くの人々の努力と物語があります。

ぜひ、西日本最大の桃産地が迎える「熱い夏」取材いただき、その背景にある人々の思いや挑戦、桃を通じて生まれる地域の活力を広く発信していただければ幸いです。



ここが注目

■ 気候変動と向き合う生産者の挑戦

近年の猛暑や暖冬など、栽培環境の変化に対応するため、生産者は産地の最前線で奮闘し、様々な工夫を重ねています。

■ 早朝から始まる産地の一日

桃の収穫は気温の低い早朝から始まります。収穫、選果、出荷まで続く産地のリアルな一日があります。

■ 桃を支える多様な担い手

生産者だけでなく、JA職員、直売所関係者、販売事業者など、多くの人々が桃産業を支えています。

■ 桃がつなぐ関係人口の広がり

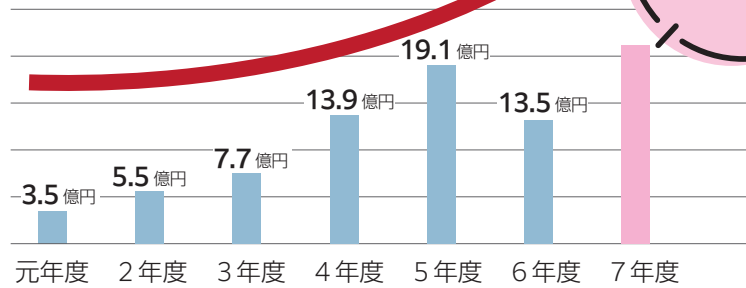
ふるさと納税や観光などをきっかけに、桃を通じた地域とのつながりが全国に紀の川市のファンを広げています。

PR ポイント

■ふるさと納税

桃は返礼品の中核を担う存在であり、全国の多くの方から高い支持をいただいています。桃農家を取り巻く環境を支援するため、昨年度にはJAわかやまと手を取り合いクラウドファンディングを実施。見事目標金額（2,000万円）を達成し、桃農家を守る取り組みを推進しています。

ふるさと納税寄附額の推移



速報値
20億6千万円

■大学教授によるサテライト講義の実施

桃農家が直面している「核割れ」や「高温障害」のメカニズムや対策、農業資材である「バイオスティミュラント」の活用方法などを学ぶため大学教授を招へいし、サテライト講義を実施しました。



■地理的表示 (GI) 保護制度

「あら川の桃」は令和5年7月20日に農林水産省所管の地理的表示 (GI: Geographical Indication) 保護制度に登録されました。桃の登録はこれまでに事例がなく、本市の「あら川の桃」が全国初となります。

桃の出荷スケジュール

品種	6月		7月			8月	
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
はなよめ	●	●					
日川白鳳		●	●				
八幡白鳳		●	●				
白鳳			●	●	●		
なつっこ				●	●	●	
清水白桃				●	●	●	●
川中島白桃					●	●	●

【本件に関する問い合わせ先】

紀の川市役所 市長公室広報課 担当：峰田・増田

TEL：0736-77-2511 FAX：0736-77-4910 E-MAIL：k020100-001@city.kinokawa.lg.jp